



## 15名の6年生、ご卒業、おめでとうございます。

第135回卒業証書授与式は、本日3月17日、来賓・在校生なしの短時間の式となりましたが、厳かで温かな雰囲気の中、無事挙行することができました。卒業生は立派に巣立っていきました。今後の活躍を祈念します。

### <卒業式 学校長式辞>

厳しい寒さの冬が過ぎ去り、春がすぐそこまで来ているように思われます。この佳き日に、武石地域教育事務所長 樋口明雄様のご臨席を賜り、令和三年度卒業証書授与式を挙行できますことに心より感謝申し上げます。なお新型コロナウイルス感染拡大防止のため、このような卒業証書授与式となりましたことについてはご理解ください。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さんが手にした卒業証書は、皆さんがこの六年間、立派に小学校生活を果たし終えたという証です。そして、そこには共に泣き・笑い、一緒に歩んできた友だち、いつも皆さんを温かく見守り、育ててくださったご家族や地域の皆様、そして先生たちの思いが詰まっています。今日、あらためて多くの方々への感謝の思いを深く心に刻んでくれることを願っています。



皆さんはこの六年間、勉強、運動、集団生活を頑張り抜き、立派に成長しました。特に、最上級生としてのこの一年間の活躍はすばらしかったです。

運動発表会では、スローガン「武石小のみんなが全力で、コロナに負けず、スターのように輝く運動発表会」のもとに、躍動する姿が見られました。運動発表会の花である高学年の集団運動も、六年生が核となり、見応えのある演技を披露しました。係活動、応援も精一杯に取り組むなど、すべての場面で六年生は輝きを放ち、運動発表会を成功に導いてくれました。

また、武石小がめざしたICT活用と特色ある活動である飛龍太鼓や松茸狩りなど、熱心に取り組みました。ICT活用では修学旅行においてもクロムブックを有効に活用したり、音楽会では力強い飛龍太鼓を演奏してくれました。

中学に進学しても武石小で学んだり体験したりしたことを財産として、さらにいろいろなことに挑戦してほしいと思います。あきらめなければ、人はいつまでも成長し続けられるでしょう。

今開催されている大相撲春場所で新大関の春を迎えている長野県上松町出身の「御嶽海」は、長野県として227年ぶりの大関です。2018年7月場所で初優勝し、翌年9月、2度目の優勝をし、2度大関昇進に挑戦しますが、失敗しました。しかし今年1月場所に優勝し、見事大関昇進を決めました。「あきらめも必要なのかと思ったこともあったが、皆さんの期待に応えたいという思いでここまでくじけずにやってこられた。横綱昇進を目指して頑張っていきたい」と、コメントしています。自分の強い気持ちとそれを支える人々が大切です。

小学校生活の六年間で大切な仲間をつくった皆さん、大きな夢を持ち、歩み続けていってください。大切な仲間はもちろん、私たち教職員もいつまでも皆さんのサポーターとして応援し続けていくつもりです。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

私ども職員一同、子どもたちの成長を我がことのように思い、精一杯お預かりしたつもりでございますが、至らないことも多かったことと存じます。それでも、皆様が学校教育にご理解ご協力くださり、お支えいただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

結びに、ここにお集まりの皆様と共に卒業生の輝かしい未来を祈念し、式辞といたします。

令和4年3月17日

上田市立武石小学校 校長 竜野正英

<呼びかけと歌>卒業生の心がこもった呼びかけと歌でした。

今、ぼくたちは 喜びにほほえみ かがやき合って歩んできたこの武石小学校を卒業します。 卒業します。この六年間を振り返ると喜びや悲しみの思い出がたくさん心の中によみがえってきます。運動発表会、みんなの力を合わせて頑張った組体操。一人技、ダンス、フラッグが成功したときの喜び。音楽会では、歌や太鼓での歌声や太鼓の音が合わなくても、みんなで気持ちをそろえて一つの曲を作り上げた。そして、新型コロナウイルスで連合音楽会がなくなってしまったが、立派なステージでみんなで心を合わせて歌ったことはいい経験になった。児童会では、委員会ごと全校が楽しめるような企画を精一杯考えて実行。みんなが笑顔で楽しんでもらえたスターフェスティバル！いろいろな人の協力により燦製を完成させることができました。休み時間 友達とチャイムがなるまでやった鬼ごっこ すごく楽しかった数々の楽しい思い出は、ずっと一緒に過ごしてきたこの15人の仲間がいたからです！



そして、今年。思い通りのことができず希望を失いかけた。けれど先生方や家族のおかげで希望を持ち続けることができました。勉強で解けない問題を一から教えてもらい分かるようになった。苦手なことができたときに、ほめてくれたことが、自信になり、うれしかった。

みどり先生、1年生の時から音楽の楽しさを教えてもらいました。金管ではありがとうコンサートまで開いてもらいました。大会は、なかったけど練習のあった日々は宝物として心に残っています。

みき先生、ケガをした時優しく手当をしてくれて嬉しかったです。

森泉先生、勉強を教えてください困っている時には声をかけてくれたり、とてもお世話になりました。

曾根先生、献立を考えることでは、大切なことがいくつもあるということを教えてもらいました。毎日の給食、美味しかったです。

忘れられない最高の小学校生活を送れたのは、先生方のおかげです。ありがとうございました。

とうふ 味噌作り 米作り ベンチ作りなど地域の皆さんから沢山のことを教わりました。様々なところで私達のことを支えてくださった地域の皆さん、ありがとうございました。



そして 12年前しあわせになあれと願いをこめて名前をつけてくれた お父さん お母さん 私を生んでここまで育ててくれて ありがとうございました。

悩んだとき こまったときいつでもそばにいて 支えてくれました

素直に言えなかった気持ちを 今日伝えたいと思います ありがとうございました！



4月から 新たなステージへと 進んでいきます。この大切な名前と 両親からのたくさんの愛情とともにこれからは しあわせになるために自分の足で 未来にむかって 歩いていきます

今、卒業の時

呼びかけの中で、在校生からのメッセージをスクリーンで流しました。本当はみんなでお祝いしたかった15名の卒業です。3年続けて、30分間、来賓・在校生なしという制約の中での卒業式。来年度こそ、全校で卒業式ができるようになることを祈ります。

卒業生や保護者の皆様には、いろいろなお気持ちがあったことと存じますが、本日の卒業式の運営にご理解・ご協力いただいたこと、感謝申し上げます。また、卒業制作でいただいた消毒台を、大事に使わせていただきます。ありがとうございました。

**ご卒業おめでとうございます。15名の卒業生の前途に幸多いことを祈ります。**